

受講生
募集!

俳優のための 戯曲レッスン

せりふの秘密、教えます。戯曲の仕組み、語ります。

渡辺えりクラス

10月27日(金)～10月30日(月) 全4日間

虎の穴の体験

劇作家の新作は役者によって生まれます。劇作家はいつも役者を探しているのです。面白い役者に触発されて作品が生まれます。鶴屋南北もシェークスピアもそうでした。

新しい出会いを求めて芝居漬けの四日間を楽しみましょう。自分でも気が付かなかった個性が引き出されるかもしれません。

中津留章仁クラス

11月9日(土)～11月13日(月) 全5日間

楽しんで戯曲を探求しよう！～せりふの音色の可能性

せりふのリアリティはどのようにして生まれるのでしょうか。わたしのクラスでは、せりふの文体から人間の行いを検証し、繰り返し実演することで、その音の変化を知ることからはじめてみたいと思います。徹底的にせりふと向き合い、人物像を創る。その想像力こそが俳優の宝なのです。今後、俳優として更に成長したい中級者の方や、初心者の方などにオススメの教室です。皆さまとの出会いを楽しみにしております。

マキノノゾミクラス

11月20日(月)～11月23日(木) 全4日間

劇作家が求める俳優とは？

俳優というのは、誰かに「求められる」仕事です。プロデューサーに求められ、演出家に求められ、共演者に求められる。もちろん、劇作家にも求められます。俳優を続けるからには、できるだけ多くの関係者たちから「求められる」俳優にならなければなりません。わたしは演出もしますが、劇作家でもありますから、まずは「劇作家に求められる俳優とは、どういう人たちか？」を中心の主題にすえて、一緒に考えてみたいと思います。

古川貴義クラス

11月30日(土)～12月4日(月) 全5日間

戯曲を掴む ～せりふが言えないなんて言わせない～

戯曲に乗ることから、演技をはじめてみませんか？

書かれている通りに声に出してみる。語尾は変えない。言いやすいように言い換えたりしない。句読点も意識する。それだけで、その劇作家のリズムが掴めます。登場人物の意識の流れが掴めます。その戯曲の本質が掴めます。

技術や経験など気にせず、まずは戯曲を乗り越えてみるのです。ふだん、上手く乗れなくて困っている人も、乗るのがはじめての人も。思い切って乗ってしまえば、意外と楽しいものです。

*渡辺えりクラス・マキノノゾミクラスは、一定以上の演劇経験を有し、継続的に舞台に立っている方が対象です。プロ・セミプロ歓迎。

*中津留章仁・古川貴義クラスは、セミプロの方ももちろん、18歳からシニアまで、演劇経験の浅い方にもレベルに合わせて対応します。

会場——**芸能花伝舎 創造スペース B1a**

主催——**一般社団法人 日本劇作家協会**



「俳優のための戯曲レッスン」は、戯曲の読み解き方を知り、せりふの発し方を訓練する、実践的なスキルアップ・ワークショップです。



Eri
Watanabe



Akihito
Nakatsuru



Nozomi
Makino



Takayoshi
Furukawa